

取扱説明書 NS-HD598VP

フルハイビジョン 2.2メガピクセル
ワンケーブルドーム型暗視カメラ



目次

1. 安全のための注意	-3
2. 免責事項	-3
3. 製品構成	-4
4. 各部名称と機能	-4
5. 設定画面	-5
5-1 画面操作	-5
5-2 レンズ	-6
5-3 露出	-6
5-4 ホワイトバランス	-7
5-5 WDR/BLC/ACE	-7
5-6 デジタルノイズ除去	-8
5-7 デイ/ナイト	-8
5-8 イメージ	-9
5-9 スペシャル	-10
5-10 システム	-11
5-11 初期化/終了	-11
保証書	-12

1. 安全のための注意

ご使用前に、この『安全上のご注意』をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使い頂き、使用する方への危害や損害を未然に防止する為のものです。安全に関する重大な内容なので、必ず守ってください。

- 正規の電源を使用してください。指定された電圧を越えるもの (DC12V) を供給する電源にこの製品を接続すると製品に損傷を与えます。
- カメラ本体に金属などの異物を差し込むと感電する場合や火災になる危険があります。
- 濡れたままで、または埃をかぶった状態で使用しないでください。
製品は清潔で、乾燥している場所でお使いください。また濡れた手で本製品を扱うと感電する危険があります。
- 本製品の外部のケースを清掃するには、軽く湿らされた布を使用してください。溶剤は厳禁です。
- 製品が作動しない場合は故障も考えられます。異常な音やにおい又は煙の出る場合は直ちにコンセントからプラグを抜いて販売店にご連絡してください。
- 分解・改造などは故障の原因となり、また保証対象外となります。
- 製品は精密機械なので、強く落下したり、ぶついたりして破損しないよう注意深く扱ってください。
- 万一、通常の使い方でも故障した場合は、直ちに使用を中止し、修理または交換のため販売店にご連絡ください。
- カメラは、埃の多いところ、高温多湿のところ、直接太陽光などの強い光が入るところでの使用は避けてください。

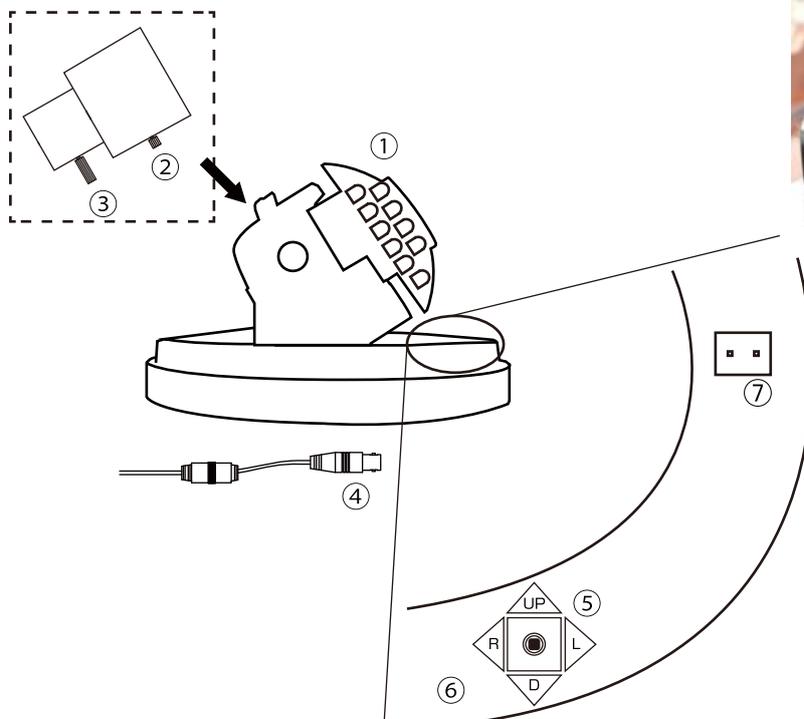
2. 免責事項

- 本製品で録画した映像は、個人として利用するほかは、著作権法上権利者に無断で利用できませんのでご注意ください。
- 雷、津波、地震、その他自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障および損傷が生じた場合、弊社または弊社が許可した者以外が分解や改造した場合、または腐食や錆などによる外観の劣化の場合、原則として有償での修理とさせていただきます。
- 本製品の保証は、本書記載の内容をお守り頂かなかった場合、適用対象になりません。弊社では機器の故障、不具合、トラブルに対しての出張対応は行いません。修理、設定、などについては SENDBACK 方式にて対応させていただきます。

3. 製品構成

○本体 ○説明書（本紙） ○壁面取付用ビス ○点検用プラグ

4. 各部名称と機能



**Lens 調整は首を少し上向き
にすると調整できます。**

- ①赤外線ユニット - - - - 暗視時に赤外線を照射する LED が搭載されています。照射時は中心部が赤く点灯します。ユニットの中に、②③のレンズ部があります。
- ②フォーカス調整 - - - - ピント調整を行います。 F = 遠距離側 N = 近距離側
- ③ズーム調整 - - - - - ズーム調整を行います。 T = 望遠側 W = 広角側
※初期の焦点位置から、先にズーム調整を少しずらし、次にピントを合わせる操作を繰り返します。
- ④ HD-SDI プラグ - - - - HD-S010D/HD-S040D/HD-S080D のユニットに接続します。
VP 端子 配線は、同軸線を使用します。
- ⑤メニューボタン - - - - ボタンの中心を押します。メニュー画面が表示されます。またメニュー画面内では、「決定ボタン」として機能します。
- ⑥操作ボタン - - - - - ボタンを上下左右に傾けることで、メニュー画面を操作します。
上下=カーソルの移動 左右=数値の変更や、選択項目の変更を行います。
- ⑦テスト用プラグ - - - - 付属の点検用プラグを接続し、アナログテレビなどで画角を点検する際に
接続端子 使用します。設定が終わったら外してください。

5. 設定画面

5-1 画面操作

- メニュー画面の設定は本体ケーブルの設定ボタン（P5 参照）で操作します。
- 「決定ボタン」（ボタン中央）を押すと、画面上にメニュー画面が表示されます。
- メニュー画面上の文字が黄色となっている状態がカーソル表示項目となります。
- カーソルを上迎移動させる場合は、「UP ボタン」「D ボタン」を押してください。
- 設定項目や数値を変更する場合は、「L ボタン」「R ボタン」を押してください。
- 項目を決定する場合は「決定ボタン」を押します。
-  アイコン」のある項目は次画面があります。「決定ボタン」で次画面へ移動します。
- 前画面に戻る場合は、カーソルを「戻る」へ移動させ「決定ボタン」を押します。
- 設定項目は、変更した時点で反映されます。画面を見ながら操作してください。

メニュー画面の構成は以下の通りです。設定を行う画面を選択し、設定項目を変更します。

メニュー	
○レンズ	DC
○露出	↓
○ホワイトバランス	↓
○WDR/BLC/ACE	↓
○DNR	↓
○デイ&ナイト	↓
○イメージ	↓
○スペシャル	↓
○システム	↓
○初期化	↓
○終了	ON

- レンズ - - - - - レンズを選択します。
- 露出 - - - - - シャッター速度などについて調整します。
- ホワイトバランス - - - 映像の色味の調整を行います。
- WDR/BLC/ACE - - - 逆光補正機能を調整します。
- DNR - - - - - ノイズ除去機能を設定します。
- デイ&ナイト - - - - 昼夜の映像切替について調整します。
- イメージ - - - - - 映像の表示について調整します。
- スペシャル - - - - - 特殊機能について設定します。
- システム - - - - - カメラのシステム設定を行います。
- 初期化 - - - - - カメラの設定を初期化します。
- 終了 - - - - - メニュー設定を終了します。

5-2 レンズ

レンズの種類を選択します。また、使用環境も設定できます。
本機は「DC」で使用してください。

屋内 - - - - - 屋内使用時に選択します。

屋外 - - - - - 屋外使用時に選択します。

手振れ補正 - - - - 映像のぶれが気になる場合に選択します。カメラが固定されている建物などでの使用時には、設定の必要はありません。また、映像によっては補正が弱く感じられる場合もありますので、必要に応じて補助的に設定してください。

5-3 露出

映像の明るさやシャッター速度などを設定します。
「DC」で使用してください。

輝度 - - - - - 画面全体の明るさを「0（暗い）～20（明るい）」の間で調整します。

AGC - - - - - オートゲインコントロールの設定数値を「0（低）～20（高）」に設定します。

シャッターモード - - - シャッタースピードを「自動」/「マニュアル（固定）」/「FLICKER」から選択します。

自動：環境にあわせて自動的に調整します。 マニュアル：シャッタースピードを固定します。 「1/30～1/60000」の間で選択します。 FLICKER LESS：蛍光灯のフリッカ（50Hz 地域使用時）を低減します。

シャッター速度 - - - シャッターモードが「マニュアル」の状態では機能します。
シャッター速度を選択します。

SENS UP - - - - 低照度時の感度アップ機能を、「オフ/x2～x8」の間で選択します。
※低照度時には、動体に残像が出る場合があります。

5-4 ホワイトバランス

映像の色みについて調整します。

初期値「AWB」での使用を推奨します。水銀灯や特殊な光源を使用している環境では、項目を変更するなど設定して環境に応じた映像に設定してください。

モード - - - - - 初期値での使用を推奨します。

AWB : ホワイトバランスを自動調整します。
ATW : 使用環境の照明条件が変化する場合で選択します。
マニュアル: 赤み、青み、を数値で調整します。
PUSH : 「決定ボタン」を押し続けている間の映像でホワイトバランスを
LOCK 設定します。

彩度 - - - - - マニュアル設定時に、色味の鮮やかさを「低 / 中 / 高」から設定します。
実際の映像をみて操作してください。

赤ゲイン - - - - - 映像の赤みを調整します。

青ゲイン - - - - - 映像の青みを調整します。

PUSH AUTO - - - - - モードが「PUSH AUTO」の時に「決定ボタン」を押します。
押し続けている間に色味が変わりますので、ちょうどよい状態でボタンを離します。
ボタンを離れた瞬間の状態の色味が保存されます。

5-5 WDR/BLC/ACE

逆光に対する補正を調整します。

撮影場所が逆光状態になっている場合に、各補正機能を選択します。

初期値は「OFF」になっています。WDR 機能の使用を推奨します。

モード - - - - - 逆光補正機能を選択します。

OFF - - : 初期値です。逆光補正を行いません。

BLC - - : 逆光補正を有効にします。光源の位置にカーソルを設定して補正を最適に行います。

H- 座標 : カーソルの位置を左右に移動します。
「0 ~ 20」の間で水平位置を設定します。
V- 座標 : カーソルの位置を上下に移動します。
「0 ~ 20」の間で垂直位置を設定します。
H- サイズ : カーソルの水平サイズを変更します。
「0 ~ 20」の間で横幅を設定します。
V- サイズ : カーソルの垂直サイズを変更します。
「0 ~ 20」の間で縦幅を設定します。

WDR - - : WDR 機能を有効にします。

ACE - - : 明暗比の自動調整を行います。通常は WDR 機能を使用してください。

5-6 デジタルノイズ除去

映像内のざらつき（ノイズ）を補正します。

夜間映像などのノイズを除去します。必要に応じて設定してください。

設定は、除去機能「オフ / 低 / 中 / 高」の中から選択します。

5-7 デイ&ナイト

昼 / 夜のモード切替について設定します。

初期値は「自動」になっていますので、初期値での使用を推奨します。

モード - - - - - 「自動」での使用を推奨します。

自動：照度に応じてカラー / モノクロを切り替えます。
カラー：常にカラーモードで稼働します。夜間などは低照度モードで稼働します。
モノクロ：常にモノクロモードで稼働します。
外部制御：使用しません。

センサー - - - - - AGC で使用してください。選択できません。

遅延時間 - - - - - 「自動」でのみ設定できます。「0 秒（オフ）～ 9 秒（長い）」

D->N レベル - - - - 「デイモード（カラー）」から「ナイトモード（モノクロ）」に切替わるタイミングの照度レベルを調整します。「11（低い）～ 20（高い）」の間で調整します。
※ 10 以下には設定できません。

N->D レベル - - - - 「ナイトモード（モノクロ）」から「デイモード（カラー）」に切替わるタイミングの照度レベルを調整します。「0（低い）～ 10（高い）」の間で調整します。
※ 11 以上には設定できません。

バースト - - 「」 - 設定しません。
スマート IR |
レベル |
CDS 特性 - 「」

5-8 イメージ

カメラ映像について調整します。

映像出力全体の表示に影響します。昼夜の映像の違いを考慮し、必要に応じて設定してください。

シャープネス - - - - - 映像内のエッジを強調します。実際の映像を確認して設定します。

「0 (ソフト) ~ 10 (標準) ~ 20 (強調)」の間で設定します。

色レベル - - - - - 映像の色の強さを調整します。

「0 (弱い) ~ 10 (標準) ~ 20 (強調)」の間で調整します。

ミラー - - - - - 映像表示の左右方向を設定します。天井設置時を基準とします。

「オフ」で正位置、「オン」で左右反転します。

フリップ - - - - - 映像表示の上下方向を設定します。天井設置時を基準とします。

「オフ」で正位置、「オン」で上下反転します。

※壁面取付など、設置位置にあわせて操作してください。

レンズ遮光 - - - - - 輝度のムラに対して補正します。「決定ボタン」で次画面へ移動し、補正数値を調整します。

ガンマ補正 - - - - - ガンマ値の補正を行います。「0.45 ~ 0.65」の間で調整します。

デジタルズーム - - - 撮影中の映像をデジタル処理で拡大します。「1.0 (標準) ~ 8.0 (最大)」の間で設定します。一度設定すると、同じ倍率のまま撮影を続けます。

DEFOG - - - - - 通常は使用しませんが、霧がかかった状態になりやすい環境の場合に操作します。明暗差を強くし、視界不良を軽減します。「オン」の設定では、次画面で補正の強さを「0 ~ 100」に調整できます。

5-9 スペシャル

カメラとの通信や、プライバシーマスクについて設定します。必要に応じて設定してください。

通信 - - - - - ワンケーブルユニットを経由して RS-485 制御を行う場合に設定します。

初期値から、操作機器側の設定に合わせて数値を変更します。

「決定ボタン」を押し、次画面へ移動します。

カメラ ID : 1 台の制御機器で複数台のカメラを制御する場合、個々のカメラを識別するために ID を設定します。「1 ~ 255」まで設定できます。

ポーレート : 信号の通信レートを設定します。

「2400 (初期値) / 4800 / 9600 / 19200 / 38400 / 57600 / 115200」から選択できます。

PROTOCOL : PELCO-D のみ認識します。

プライバシー - - - - 表示させたくない部分をマスキングします。「ON」を選択し、「決定ボタン」で次画面へ移動して設定します。

※初期値として設定されている 15 個のマスキングセルを調整します。不要なマスキングセルは非表示に設定し、必要数のみサイズや位置を設定します。

マスキングセル：マスキングセルは同時に 16 個表示できます。どのマスキングセルを設定するかを選択します。「0 ~ 15」までのナンバーが振られており、初期値はすべて表示されています。

マスキングモード：マスキングセルの表示を「オン / オフ」を選択します。初期値はすべて表示されていますので、不要なマスキングセルは「オフ」にして非表示にします。

H-座標：マスキングセルの水平位置を「0 (左端) ~ 60 (右端)」の間で設定します。

V-座標：マスキングセルの垂直位置を「0 (上端) ~ 40 (下端)」の間で設定します。

H-サイズ：マスキングセルの横幅を「0 (非表示) ~ 40 (最大)」の間で設定します。
※最大でも画面横幅すべてをマスキングできません。マスキングセルを複数使用してください。

V-サイズ：マスキングセルの縦幅を「0 (非表示) ~ 40 (最大)」の間で設定します。
※最大で全画面をマスキングできます。

マスキング色：マスキングセルの色を設定します。「シアン / 緑 / マゼンダ / 赤 / 青 黒 / 白 / イエロー」から選択します。

HLC - - - - - 光源など光の強い部分を塗りつぶした状態を表示します。「ON」を選択し、「決定ボタン」で次画面へ移動します。

レベル：塗りつぶし範囲を「0 (広い) ~ 20 (狭い)」の間で調整します。
狭く設定すると、光源部分のみを塗りつぶします。

マスキング色：塗りつぶし色を「黒 / 白 / イエロー / シアン / 緑 / マゼンダ / 赤 / 青」から選択します。

モード：HLC が機能するタイミングを選択します。

「ALL DAY」= 常時機能します。

「NIGHT ONLY」= 「ナイトモード (モノクロ)」のみ機能します。

モーション - - - - - カメラが映像内で動きを検知した際に、検知され警告とエリアを画面上に表示します。動体検知（モーション）の警告は外部に出力されません。映像にのみ表示されます。検知のあったエリアは枠線で表示され、警告メッセージ「MOVING!!!」も表示されます。「ON」を選択し、「決定ボタン」を押して次画面に移動します。

感力：検知感度を設定します。「0（高）～20（低）」の間で設定します。※設定中の検知状態を確認する場合、「MOTION OSD」を「オン」に設定してから操作してください。

マスクモード：「ON」を選択し、モーション検知エリアを表示します。

DET H 位置：エリアの水平位置を移動します。「0（左端）～60（右端）」の間で設定します。

DET V- 位置：エリアの垂直位置を移動します。「0（上端）～40（下端）」の間で設定します。

DET H- サイズ：エリアの横幅を設定します。「0（非表示）～60（最大）」の間で設定します。

DET H- サイズ：マスクの縦幅を設定します。「0（非表示）～40（最大）」の間で設定します。

マスクトーン：「MOTION OSD」を「オン」に設定した場合に、検知しないエリアを塗りつぶし、検知エリアのみを表示します。この塗りつぶしの濃さを設定します。

「0（透明）～6（濃い＝白塗りつぶし）」から設定します。

5-10 システム

カメラのシステム部分の設定を行います。

SDI 解像度 - - - - - 1080P で使用してください。

SDI フレーム - - - - - 30P で使用してください。

周波数 (NT/PAL) - - - - - NTSC で使用してください。

CVBS スケール - - - 点検用のアナログ出力端子を使用した際の画像サイズを設定します。

CVBS 出力 - - - - - 点検用のアナログ出力を「ON/OFF」選択します。

言語 - - - - - - - - - メニュー表示の言語を設定します。「JPN」で使用してください。

5-11 初期化 終了

初期化では、設定したすべての設定を出荷時に戻します。

終了はメニュー画面を閉じます。

